

# 代表質問

2月定例会では、浜崎晋一議員(鳥取県議会自由民主党)、木村和久議員(鳥取県議会民主党)が、県行財政上の諸問題について、会派を代表して質問を行いました。

## 鳥取県議会自由民主党

選挙区 鳥取市  
浜崎 晋一 議員



### 当初予算の編成方針について

**問** 実質的な地方交付税の減額など、非常に厳しい財政状況の中で、何に重点を置いて予算を集中投下されたのか、当初予算の編成方針を伺う。

**答** 当初予算の編成に当たっては、鳥取の地方創生である「元気づくり」を力強く進めていくことを最大のテーマとし、地域の活力を増進させるための産業や雇用の元気づくりを進めるとともに、共生型の社会など鳥取らしいきずなに恵まれた社会をつくり上げていくという、2つを基軸に進めていくという考え方をしたところ。

### 元気づくりの本格展開について

**問** 昨年度の地方創生の先行型交付金の評価を踏まえ、今年度の新たな交付金を活用して、鳥取県の元気づくりの本格展開に向けて、どのように取り組んでいくのか。

**答** これまで全国の中で先行して地方創生に取り組む姿勢を評価され、人口当たり最も多くの交付金を配分される中、中山間地域の振興、移住対策、空の駅などに着手しており、出生数の増加や当初目標の宿泊外国人8万人の目標も達成の見込みである。今後も、TPPを見据えた農林水産業の強化、若者のUターン促進に向けた基金の設置、奨学金の手当など、先導的に進めていきたい。

### スポーツによる元気な地域づくり

**問** 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、ホストタウンとなったジャマイカの陸上競技をはじめ、パラリンピックやほかの競技を含めて、事前キャンプの誘致をどのような戦略で取り組んでいくのか。

**答** ジャマイカ陸上については、これまでの2回のキャンプが弾みとなり、ジャマイカのウエストモアランド県との姉妹提携、さらに東京オリンピック・パラリンピックにおいて、本県がジャマイカのホストタウンに登録された。こうしたキャンプ地誘致だけではなく、

レーザー級のヨットの世界選手権大会の誘致や卓球など様々な競技で実績を重ねながらキャンプ地誘致も進めていきたい。

### 共に生きる社会の構築に向けて

**答** 障害者差別解消法の施行を今年4月に控える中で、共生社会の実現に向けて次のステップとして本県が取り組むべき施策は何か、平成28年度予算でどのように事業化されているのか伺う。

**問** 障害者差別解消法に向けて、合理的な配慮をする、あるいはゆえんなき差別を排除するためのルールとして、職員行動規範を制定し、市町村にも広げたい。さらに、全国に先駆けた盲ろう者支援センターの設置などの先導的な施策、親亡き後の支援に向けた、安心サポートファイルの普及や関係機関等の連絡調整を行う手をつなぐ育成会へのコーディネーターの配置などを盛り込んでいる。

## 鳥取県議会民主党

選挙区 鳥取市  
木村 和久 議員



### 地域循環型地方創生について

**問** 地方創生は、地域自らが自らの為に立てる「持続・循環の計画」である事、更に県政運営には協働・納税者・自立の県民意識が重要だと思うが。

**答** 単に東京をもう一つ、リトルで創るという事ではない「鳥取」をつくる気構えと、協働などの前提条件の必要は、全く同感である。

### 環境・再生エネルギーについて

**問** 核のゴミ受け入れ拒否を、明確に表明すべきだ。また国策の原子力政策・原発再稼働であれば、当然、費用は推進主体である国が措置すべきだ。今後も国が措置しないのであれば中国電力に要求すべきである。

**答** 核廃棄物の受け入れの考えはない。また費用は中国電力ないし、保証的立場にある国が持つべきお金であり、少なくとも県民が負担すべきお金ではなく、今後とも追及してまいりたい。

◎答弁者は、記載のないものは知事(各部長の答弁も含む)。教育長、教育委員長、病院事業管理者は知事の部局ではないため別に表記した。

## 企業誘致について

**問** 誘致企業を選ばせていただく。一方で地元企業との連動性も勘案させていただくなどの「誘致基準」が必要ではないか。

**答** 企業誘致で雇用を増やすことから、質・成長性・地元波及重視へシフトしていきたい。

## 地域製造業について

**問** 75%の事業主が抱えている事業継承問題は、10年後の大きなリスクだ。

**答** 去年は倒産の10倍の自主的な廃業があった。これは後継者問題にある。地域を超えた人材獲得も含め、ウイングも広げながら事業承継に本格的に取り組まなければならない。

## 美術館整備について

**問** 文化芸術への本質的議論、整備・運営の財源議論、整備手法の議論はしっかり行われたのか。内容を明確にし、県民総意が重要だ。

**答** (教育長) 地域再生の中核的施設は必要で、整備

について議論中。今後、運営方法や運営費等について審議する予定。現博物館の再整備については博物館協議会で議論していく。財源の議論は検討委員会等ではしていない。国の補助制度は無く、起債、あるいは県の一般財源となる。

## 小規模校の今後について

**問** 高校の存在は地域が持続する大きなファクターとなり得る。1クラスも想定に、地域と仕事を創造できる将来人材の養成機関に転換すべきだ。

**答** (教育委員長) 問題点は、地方の未来像が見えないということだと思う。県教委の指示に従うのだというように、我が事感というのが少し弱かったと思う。問題意識は県教委も、私たちも強く持っており地域、学校などと一緒に新しい試みを進めたい。

会派正式名称

【自由民主党】 鳥取県議会自由民主党  
 【民 主 党】 鳥取県議会民主党  
 【公 明 党】 公明党鳥取県議会議員団  
 【希 ぞ み 望】 鳥取県議会会派希望  
 【共 産 党】 日本共産党鳥取県議会議員団

※会派名は  
2月定例会  
時点の名称  
を記載して  
います。

# 一般質問

2月定例会では、27人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。  
 なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

### 県立美術館設置は東部経緯を考慮に



銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市  
会 派 公明党

**問** 東部設置が筋だ。これまでの不幸な経緯と背景を判断材料に入れた決定でなければ、県民大方の納得が得られない。

**答** 教育委員会で議論の後、私と議会との話し合いに入っていく。感情論やいきさつとして、いろいろとのみ込みながらの議論、慎重なプロセスが必要だ。銀杏議員からの貴重な意見を胸に刻み、私もこの検討にいずれ参画していきたい。(教育長) 東部の思いも理解できる。議員の意見も含め専門委員会に報告し、総合的に勘案していく。

### 中山間地の現状と活性化策について



福田 俊史 議員

選挙区 八頭郡  
会 派 自由民主党

**問** 我が八頭郡は県平均の3倍の勢いで人口減が進んでいる。このような中山間地の活性化に向け、きめ細やかな調査と分析、その結果に基づいたきめ細やかな対応策が今必要なのではないか？知事の所見を問う。

**答** 議員の御意見を踏まえ、今後市町村と協議し、調査内容を検討したい。またその調査結果に基づき、現場に即した中山間地対策を講じていくことにより、地方創生という大きな課題の道筋をつけていけるのではないかと考えている。

### 若年性認知症患者への支援について



島谷 龍司 議員

選挙区 鳥取市  
会 派 自由民主党

**問** 働き盛りで発症する若年性認知症の経済的困難や早期診断、医療、介護の不足解決にとって、患者一人一人の状態に応じた支援体制が必要ではないか。

**答** 治療センターを中心に、かかりつけ医の水準の向上、サポートセンターによる生活上の様々な困りごと、医療問題の解決支援など、当事者と近いところで若年性認知症に対して社会全体でアプローチしていき、若年性認知症患者一人一人に寄り添ってまいりたい。